

# 安心 自信 自由

子ども一人一人を大切に

## キャップ 公開CAPおとなワークショップのご案内



CAPとは子ども自身があらゆる暴力から自分の心と体を守る教育プログラムです。子どもたちには自分の大切さと暴力から身を守る具体的な方法を教え、おとなの皆さんには子どもの持つ力を信じ、子どもの心の手当の方法をお伝えします。

CAPは35年余の歴史を持つプログラムです。地域や子どもたちの抱える不安を、勇気に換えていく点が高く評価されてきました。山田町では初めてのワークショップです。劇を交えてのわかりやすい内容です。震災からの復興の中、おとなが安心を取り戻し元気になることで、子どもたちが健やかに育つ環境を整えていきませんか。

日時 11月21日(月)13時30分～15時30分(受付13時～)

会場 山田町中央公民館 小ホール

講師 石附幸子(J-CAPTAトレーニングディレクター)他

■主催 一般社団法人 J-CAPTA 公益財団法人日本ユニセフ協会 山田町

■お問合せ 山田町健康福祉部児童福祉課 児童相談員 上野・阿部 0193-82-3113(直通)

.....どうぞ、直接会場にお越しください.....

CAP (キャップ) とは、Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止) の頭文字をとったものです。子どもを対象にしたプログラム (子どもワークショップ) とおとなを対象にしたプログラム (おとなワークショップ) があります。

## CAP ワークショップを受けて・・・

・ぼくは、5年生の時ちょっといじめられていました。今、日本中でいじめによる自殺が続いています。同じ人間として悲しいと思いました。ぼくは日本中の子どもにCAPが必要だと思います。なぜかというところからCAPはいじめや暴力のことについて正しく話してくれ、人権のことも話すので、いじめられている人は勇気が出るし、いじめている人も気づくと思うからです。(小学生)

・安心・自信・自由を誰にも奪われたいと思いません。自分らしさを大切にしたい。いやな事があつたら友だちに相談したいし、友だちの相談を一生懸命にきいてあげたいです。暴力は絶対にしない、させられない。(中学生)

・劇を実際やってみると、どうするのいいかもっと知ることができました。みんなの力をかりることで、自信を持てるということもわかりました。楽しい時間をありがとう。(小学生)

・私が何気なく言っていた言葉が、子どもが話そうとするきっかけを失っていたことに気がきました。意識的に子どもの話をしっかりと聴くようになったら、子どもが自分から話してくれるようになりました。(教師)

・中学生の娘が学校から帰る途中男に肩をつかまれ声をかけられました。「やめてください」と言っても手を放してくれないので、大声で叫び逃げて帰ってきました。娘は相当ショックを受けたようです。「大きな声が出せて良かったね」とほめてやると、「小学校3年生の時に受けたCAPの事を思い出して声が出た」との事。当時私もCAPを受け子どもと一緒に練習していました。不審者情報があるたびにそのことを話してきたことが幸いしたようです。(保護者)

**J-CAPTA**  
Japan CAP Training & Action

<http://j-capta.org/>

CAP トレーニングセンター「J-CAPTA/ジェイキャプタ」は、子どもへの暴力のない社会、一人一人の子どもが大切にされる社会を目指して、地域のCAPグループと共に活動しています。

震災後に被災地域のCAPグループと被災・避難地域でのCAP活動支援を目的にJCAP311Projectを設置しました。震災復興の中でも子どもの人権尊重とエンパワメントを広げます。

J-CAPTA & 日本ユニセフ協会連携事業では・・・

\*岩手県・宮城県でのCAPスペシャリスト養成

\*CAPイラスト&コミック版サクセスストーリー、ポスター等の配布

\*岩手県・宮城県・福島県でのCAPワークショップ提供(無料)を行っています。

岩手県内でのCAPワークショップのご要望はCAP岩手(080-3190-1132)へご連絡ください

<http://www.unicef.or.jp/>

unicef